

大島小 学校だより



# 島っ子だより

第32号 令和3年1月8日

文責 校長 藤瀬 安孝

## 新しい年、新しい学期のスタート

あけまして、おめでとうございます。どうぞ、今年もよろしくお願いたします。

さて、令和3年が始まりました。今年は丑年。丑年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われています。また、牛は大変な農作業をしっかり手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「耐える」、「これから発展する前触れ・芽が出る」というような年になるとも言われています。年末から、新型コロナウイルス第3波で、経済活動をはじめとして各種大会やイベントなどが、全世界的に停滞することが続いてきました。そういった状況から『発展する前触れ』となる丑年になることを願いたいと思います。

しかしながら、感染症の収束はもう少し先になりそうな見通しです。まずは、児童の、ご家族の、島の皆様の健康第一を念頭に置きながらの3学期の大島小学校でありたいと考えています。



## 3学期始業式 作文発表

今日の始業式は、校内放送を通じて行い、その中で、3学期へ向けた作文発表がありました。

2年生代表児童は、水仙ロードへむけた練習や、新しく参加する鼓笛をがんばることを。

4年生代表児童は、朝ランや鉄棒といった運動や算数の学習、高学年として運営集会委員の仕事も頑張っていくことを。

5年生代表児童は、最高学年へ向けて鼓笛やロードレースや卒業式などの行事へ向けてがんばっていきたいことや忘れ物ゼロをめざすことなどを発表しました。

2学期終業式では、新年・新学期にむけて、できるだけ具体的な新たなめあてをもって始業式を迎えましょうという話をしました。代表の3名は、それぞれに自分のめあてを、元気に発表してくれました。他の児童も、学級で発表したり書き記したり、新年初日の今日、自分のめあてを確かめて気持ちを新たにしました。

短い3学期ですが、一年の締めくくりの学期として、寒さを吹き飛ばせるような充実した毎日になることを願っています。



## 残念ながら、ふれあい給食開催見合わせ

例年、一月末の給食週間に、給食集会とお世話になっている地域の方をお迎えしての『ふれあい給食』を実施しています。今年度も、できれば開催をと考えて準備を進めつつありましたが、長崎県内での感染者もなかなか減らない現状を考慮し、会食をとまなう『ふれあい給食』については、開催を見合わせ、集会活動だけを実施することとしました。児童も楽しみにしている行事でしたが、コロナ禍の中の苦渋の決断でした。ご了承ください。